



大なわとび8の字とびで大活躍

小原地域市民センター

「NHKなわとびかっつとび王選手権2012」の決勝大会が11月3日、東京のNHKホールで開催され、小原小学校の6年生チーム19人が出場しました。

絶対的な人数も影響し、目標の日本一とはなりませんでしたが、第5位の成績を収めることができ、日ごろの練習など子どもたちの一生懸命に取り組む姿は、地域の人たちの感動を生みました。

今は、更なる新しい目標(大会)に向かって、再スタートしているそうです。



熱戦のあとはからだに優しい一品

甲南第一地域市民センター

11月18日、袖川河川敷の甲南グラウンドゴルフ場で、甲南第一自治振興会わかまち部会主催のグラウンドゴルフ大会が開催されました。

この大会は3回目を迎え、学区内で親睦を深めようと10チームの混成チームが熱戦を繰り広げました。

昼食時には、健康推進員の皆さんによる、減塩を呼びかける取り組みとタイアップした「からだに優しい汁物の試食会も恒例になっており、当日は、具たくさん豚汁がふるまわれました。塩分控え目の薄味でも、豚肉や野菜、味噌の旨味で「とっても美味しい」と、競技を終えた参加者に好評でした。



懐かしい歌で青春謳歌♪

鮎河地域市民センター

ギターの生伴奏で懐かしい歌、思い出の歌をみんなで楽しく歌おうと、このほど、羽ばたけ鮎河自治振興会主催の「歌声喫茶in鮎河」が大河原集会所で開催されました。

参加者の皆さんは、次から次へと流れる懐かしい昭和のメロディに手拍子で笑みを浮かべて歌っておられました。会場のあちこちで、青春時代の思い出話の花も咲き、和やかなひとときとなりました。



グラウンドゴルフ交流会

柏木地域市民センター

柏木ふれあい運動公園にて11月24日、綾野学区および柏木学区の地域間交流事業として、グラウンドゴルフ交流会が開催されました。

この交流会は、二つの自治振興会が協力して、地域の住民の交流と健康づくりを目的とし実施されました。

双方の役員の皆さんは、打ち合わせ会議や事前準備作業を通して互いの交流も深まり、また、今年度この公園に設置された「防災かまどベンチ」の紹介など、情報交換も活発に行われていました。

自治振興会の活動内容を紹介しています

信楽学区自治振興会 神山・江田分会

★基本方針(スローガン)★

- ◎安心・安全な地域づくり
- ◎住民が多く交流できる地域づくり
- ◎子どもがのびのび育つ地域づくり
- ◎地域の良さを理解するまちづくり
- ◎住みやすい地域づくり

信楽学区自治振興会神山・江田分会は、信楽学区内にある5つの区のうち、神山区と江田区により設立しました。このふたつの区は、昔からつながりの深い地域です。時代の流れとともに少しずつ薄れてきたつながりを、昔のようにとりもどそうと、5つの部会により、一人でも多くの人が集うことのできるよう事業を展開しています。

保健体育文化福祉部会

みんなで協力して楽しい地域づくりをするために、まずは地域住民の交流が深められる事業に取り組んでいます。

今までから行われてきた高齢者サロンや歩こう会・スポーツ大会、お月見コンサートに加えて、今年は、歴史探訪と健康増進を兼ねた「家康・伊賀越えウォーキング」を開催し、総勢55名で19キロの道のりを踏破しました。



青少年育成部会

子どもたちがいろいろな体験や遊びを通して、人に優しい地域を愛する心を育むため、「地域の子どもは地



域で育てる」そんな事業に取り組んでいます。

昨年に引き続き行った農業体験では、春には田植えやさつまいも苗植え、秋には稲刈りやさつまいも掘りをして、実りの秋を満喫しました。

安全防災部会

災害に強い地域づくりのため、防災力向上と住民交流のための地域支援事業に取り組んでいます。昨年は両区の緊急時防災避難場所



に、合わせて8基の防災ベンチを設置しました。また、今年は緊急時に役立つ「防災マップ」の作成をすすめています。地域内での近隣同士の支えあい、防災意識の高揚が図ればと活動しています。

広報啓発部会

「神山江田だより」と題し発行している広報誌は第3号を数えています。広報誌では、分会のPRとともに、地域内の各団体の取り組みや活動を紹介したり、神山と江田のもっと知りたいことを紹介しています。

地域検討部会

住みやすい地域とはどんな地域かを考えるため、住民アンケートを実施しました。このアンケートの集計結果から、地域行事や課題を再発見したり、もっと住みやすい地域にするため、10年、20年先を見据えた地域づくり計画の策定をすすめています。

問い合わせ

信楽学区自治振興会
神山・江田分会事務局(神山会館内)
☎/082-00012